

令和4年6月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和4年6月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの影響で2年連続中止となった八戸えんぶりの代替イベントが5月1日、八戸市中心街で行われ、約8000人の観客を魅了しました。

太夫による渾身の摺りや、子どもたちのかわいらしい舞に、沿道から盛大な拍手が送られ、久しぶりに中心街が温かい雰囲気になりました。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

### 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階  
電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723  
E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

# 八戸 6月号 レポート

令和4年5月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	八戸市美術館 フリーパス制度導入
(2)	八戸PR、市が委嘱 海外経済協力員に松本氏（ワシントン在住）
(3)	八戸圏域水道企業団など5事業体 広域連携へ協議会
(4)	熊谷市長公約 八戸水産アカデミー初開催
(5)	八戸市新体育館事務局案 アリーナ拡張 候補地、旧長根リンク一帯
(6)	青森県 太平洋沖最大規模地震、津波被害想定 八戸市1万9千人
(7)	八戸市 津波避難計画改定へ説明会開始

## 【産業】

記事	概要
(8)	ECと配送 マッチング サラウンドが新サービス
(9)	八戸前沖のフグ刺し「液体凍結」金剛グループ（八戸）商品化第1弾
(10)	八戸・エプソンアトミックス 北インター団地に新工場
(11)	窒素酸化物低減装置を搭載 “世界初”の小型タンカー 北日本造船（八戸）建造へ

## 【地域】

記事	概要
(12)	移動型山車 マチニワで展示 三社大祭期間に合わせ
(13)	新品種「はれわたり」試験栽培、八戸で田植え
(14)	チーノ（八戸）9月閉館 中心街再興へ「第一歩」
(15)	希少種アハルテケ繁殖の長谷川牧場（八戸）青江代表にブリーダー賞
(16)	八戸・種差朝ヨガ 浜風浴びりフレッシュ

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	レスリング伊調馨 女子全日本合宿に参加
(18)	小野氏（八戸二養教諭）バスケA級審判に 国内初！車いすバスケ国際審判とW資格
(19)	木附沢麦青氏死去 句界の偉人、また一人
(20)	ヴァンラーレ八戸、県南16市町村「応援大使」任命 2選手が八戸PRに意欲

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>八戸市美術館 フリーパス制度導入</b></p> <p>八戸市美術館は、同一企画展を何度でも鑑賞できるフリーパス制度「かおパス」を導入した。初回に利用者情報を登録すれば2回目以降は入口に設置しているサーモカメラの顔認証システムを経てシールチケットを受け取り、「顔パス」入館が可能となる。料金は、展覧会ごとに設定され、2回の観覧で元が取れるため熱心な美術ファンからは好意的な反応が寄せられている。また、かおパスと共に導入した駐車場割引も好調で、封鎖していた番町側エントランスを開放したことで中心街から美術館への動線がよりスムーズになった。カフェとコワーキングスペースを兼ねた「エスタシオン」や八戸工業大の番町サテライトキャンパス（ばんらぼ）といった近隣の新施設オープンも追い風に、入館者の取り込みを図りたい考え。</p>
(2)	<p><b>八戸PR、市が委嘱 海外経済協力員に松本氏（ワシントン在住）</b></p> <p>八戸市は5月16日、米国ワシントンで日本の食材を現地レストランやスーパーなどに紹介するコンサルタント会社「エンコンパスジャパン」代表の松本康樹さんに、市海外経済協力員を委嘱した。協力員制度は1999年に開始され、八戸にゆかりのある人を対象とし、世界各地での経済情報の収集や八戸のPRを目的としている。松本さんは三重県出身だが、同社に務める八戸出身の池田明美さんが2016年から協力員を務めていることが縁となり、昨年八戸の海産物や加工品、コメなどを現地に売り込んでいる。今回の委嘱で協力員は米国、中国、シンガポールなど7都市9人となった。</p>
(3)	<p><b>八戸圏域水道企業団など5事業体 広域連携へ協議会</b></p> <p>八戸市など1市6町で構成する八戸圏域水道企業団は、本年度、三戸町と五戸町の簡易水道、田子町、新郷村の5水道事業体と「青森県三八地区水道事業広域連携推進任意協議会」を設立した。持続可能なライフラインの確保と経営基盤の強化を図るため、経営の一体化、施設の共同化、管理の一体化などを検討する。2024年度をめどに広域連携の実現可能性を探る。人口減少が急速に進む中、主に利用者からの料金収入で賄う水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しており、国は市町村の枠を超えた広域化を推進している。</p>
(4)	<p><b>熊谷市長公約 八戸水産アカデミー初開催</b></p> <p>産学官金などさまざまな業種が一丸となり、水産業の未来を考える「八戸水産アカデミー」が5月24日八戸市水産会館で開催された。市内の水産関係者、教育機関、金融、観光業者などから約70人が出席した。初回は八戸漁業指導協会の熊谷拓治会長を講師に招き、水産業の歩みを振り返りながら、現状や課題について学んだ。アカデミーは熊谷雄一市長の選挙公約の一つ。講演を通じ、ハマ再興に向け知見を得る場を目指しており、年度内に計4回開催する予定。</p>
(5)	<p><b>八戸市新体育館事務局案 アリーナ拡張 候補地、旧長根リンクー帯</b></p> <p>八戸市の長根公園内にある市体育館の建て替え計画で、新体育館の規模や機能などを審議する市体育施設整備検討委員会は5月26日、市庁で第4回会合を開いた。市はアリーナ部分の広さを現状の約2倍に拡張し、立地場所は旧長根リンク（市民プール）一帯とする事務局案を提示。委員から目立った異論は出なかった。一方、新体育館への集約を検討する屋内プールについては、慎重な意見もあった。今後、客席や会議室などアリーナ以外の機能に関する議論も具体化させる。市民に日常的に使用されているトレーニング室は引き続き設置する考え。市は7月の次回会合で建て替えの基本構想案を諮問する。</p>

(6)	<p><b>青森県 太平洋沖最大規模地震、津波被害想定 八戸市1万9千人</b></p> <p>青森県は5月20日、太平洋沖を震源とする最大規模の地震、津波による県内の被害想定を公表した。今回の県の被害想定では、市町村ごとの詳細なデータを示したのが特徴で、「夏の正午」「冬の夕方」「冬の深夜」の三つの前提条件で予測した。複数のモデルを組み合わせた死者数は冬の夕方に発生した場合で最大5万3千人に上り、昨年12月に国が示した試算を1万2千人上回った。陸奥湾岸の浸水域が広がったのが主な要因で、市町村別の死者は青森市が最多の2万1千人で、次いで八戸市の1万9千人だった。ただ、迅速な行動で死者は7割程度減らせると分析しており、いかに住民の避難意識を高められるかが課題となる。</p>
(7)	<p><b>八戸市 津波避難計画改定へ説明会開始</b></p> <p>八戸市は5月23日、津波避難計画の改定へ向けた住民説明会を市川地区を皮切りに開始した。6月中旬までに22地区を対象に開催予定で、避難所や避難路の見直しに地域の声を生かす。青森県が2021年度に新たな津波浸水想定を公表したことを受け、14年度以来の避難計画を見直す。市川公民館で開かれた説明会には、地元の町内会や自主防災会代表者らが出席し、市の担当者が、4月に改訂した津波ハザードマップなどを説明。これまでより大きな津波が想定され、津波到達までに逃げるのが難しい避難困難地域が拡大することなどを示した。市では6月中に事業者向けの説明会も開く予定で、避難計画は8月をめどに更新する。</p>

**【産業】**

記事	概要
(8)	<p><b>ECと配送 マッチング サラウンドが新サービス</b></p> <p>八戸市内でITを活用した物流サービスを手がける「サラウンド」（東京）は、電子商取引（EC）サイトで商品を販売する事業者と、梱包や配送を代行する事業者とをマッチングさせる新サービス「タダオキ」を始める。同社は、市が誘致したIT・テレマーケティング関連企業で同市に事務所を構え、化粧品や食料品などの在庫管理や梱包、代金決済の代行業務などを実施している。タダオキは、マッチングした代行業者がEC業者の商品を無料で保管し、商品が売れた際には、配送まで担う仕組み。EC業者は配送業務の外注で作業の手間が省けるほか、保管コストが削減でき、代行業者は空きスペースの利活用につながるなどのメリットがある。</p>
(9)	<p><b>八戸前沖のフグ刺し「液体凍結」 金剛グループ（八戸）商品化第1弾</b></p> <p>八戸市を拠点に飲食事業を展開する金剛グループの「割烹金剛」は、近年注目が高まる液体凍結機を活用した冷凍加工品の開発に取り組んでいる。第1弾として、旬を迎えた八戸前沖ふぐを急速凍結した「凍眠（とうみん）てっさ」を商品化し市内の生鮮食品スーパーで販売している。液体凍結機は、氷点下30度の専用液で食品を冷凍。通常の冷凍庫より所要時間が短いため食品の細胞を壊さず、10分ほどの流水解凍後も、生食と変わらない食感を味わえるとあって買い物客の関心を集めている。価格は1皿1800円（税別）で、6月中旬ごろまで同市スーパーほか、東京・内幸町の八戸都市圏交流プラザ「8 base（エイトベース）」やインターネットでも取り扱う。</p>
(10)	<p><b>八戸・エプソンアトミックス 北インター団地に新工場</b></p> <p>八戸市は5月20日、北インター工業団地の2万9021平方メートルを微細合金粉末の生産を手がける「エプソンアトミックス」（同市）に分譲する方針を明らかにした。同社は金属を再資源化する新工場を整備し、2025年の稼働開始を目指す。再生原料は同市河原木の本社と北インター工業団地内にある事業所で製品化。輸送コストが抑えられる距離の近さや敷地の規模を考慮し、場所を選定した。売り払い金額は4億8600万円で、6月の市議会定例会で可決されれば本契約となり、同工業団地の分譲率は98.7%に上昇する。分譲用地は残り2区画の計1万3千平方メートルで、完売が近づいている。</p>

(11)	<p><b>窒素酸化物低減装置を搭載 “世界初”の小型タンカー 北日本造船（八戸） 建造へ</b></p> <p>北日本造船（八戸市）が、低コストで環境にも配慮した小型ケミカルタンカーの建造を進めている。排ガス規制が強まり、温暖化の原因とされている窒素酸化物の低減が課題となる中、同社は大手エンジンメーカーや日本財団の助成を受けて、小型タンカーにはサイズの問題で積載が難しい低減装置の開発に成功。国内外の取引先に働きかけ、2隻の受注にこぎ着けた。船体にはコスト削減が見込める新素材のステンレスを採用するなど、タンカー市場で台頭する中国、韓国の造船所との差別化も図る。同社は、「大型タンカーは、装置の導入で低減が進んでいるが、小型では世界初ではないか」とし、さらなる受注拡大を狙う。</p>
------	--

【地域】

記事	概要
(12)	<p><b>移動型山車 マチニワで展示 三社大祭期間に合わせ</b></p> <p>八戸三社大祭に参加する山車組で構成する「はちのへ山車振興会」が制作を進める移動可能な組み立て式の山車が、祭り期間に合わせた7月31日から8月16日をめぐり八戸市のマチニワで展示される。振興会が昨年5月から制作に取り組んでいる移動型山車は、台座や装飾品のパーツをトラックで運搬できるように分割して、現地で組み立てられるのが特徴。製作費にはクラウドファンディングで募った資金や協賛金などを活用。振興会は、マチニワでの展示期間中、お囃子や郷土芸能も披露したい考え。三社大祭で神社行列と山車の合同運行が3年連続見送りとなった中、展示を通じ、祭りの継承や魅力発信につなげる。</p>
(13)	<p><b>新品種「はれわたり」試験栽培、八戸で田植え</b></p> <p>青森県産主食用米の新品種「はれわたり」の田植えが5月15日、八戸市市川町の向谷地豊隆さんの水田で行われた。2023年の市場デビューに向けた試験栽培で、17年から協力している向谷地さんは「新たなデータを提供し、地元農家の役に立ちたい」と強調する。コメ農家の向谷地さんは市川地区の3ヘクタールで主に「まっしぐら」を栽培し、水田全体のうち20アールにはれわたりの苗を作付けしている。今までの結果だと栽培は基本的にまっしぐらとほぼ同じで、味はおいしいと言われている。収穫時期は気候次第だが、9月中～下旬を見込む。</p>
(14)	<p><b>チーノ（八戸）9月閉館 中心街再興へ「第一歩」</b></p> <p>分譲マンション建設など再開構想が浮上している八戸市十三日町の商業ビル「チーノはちのへ」が9月中に閉館することが明らかになった。再開を計画するのは、全国でマンション建設などを手がける不動産開発会社「フージャースコーポレーション」（東京）。同社は、15階建ての分譲マンション2棟を核に、ホテルや飲食店が入った6階建て複合商業ビル、立体駐車場の建設を計画しており、同市十三日町と十六日町にまたがるチーノと旧花亀ビル、スカイパーキングの一括取得を目指している。一帯では、4月に老舗百貨店の三春屋が閉店しており、商業関係者は中心街のさらなる空洞化を懸念しつつも、中心街再興に向けた第一歩と好意的にとらえる。</p>
(15)	<p><b>希少種アハルテケ繁殖の長谷川牧場（八戸） 青江代表にブリーダー賞</b></p> <p>最古の馬の品種とされるトルクメニスタン原産の「アハルテケ」は、世界で約3千頭しかいない希少種で、毛並みの美しさから“幻の馬”とも称されている。国内で唯一、繁殖活動に取り組む八戸市の「アハルテケ長谷川牧場」では、2019年以降で5頭の新たな命が誕生。その功績が認められ、代表の青江美智子さんに4月、同国の保護団体、国際アハルテケ協会から「ブリーダー賞」が贈られた。国としてアハルテケの積極的な保護活動を展開するトルクメニスタンからも大きな期待が寄せられ、5月27日には、エリヤソフ駐日特命全権大使が牧場を視察した。青江さんは受賞を機に、今後の活動への決意を新たにしている。</p>

	<b>八戸・種差朝ヨガ 浜風浴びリフレッシュ</b>
(16)	八戸市の種差海岸天然芝生地で5月28日、波音を聞きながら芝生の上でヨガを楽しむ「種差朝ヨガ」が始まった。種差地区の住民を中心に、地域活性化に取り組む「種差あねっこ」が種差海岸に足を運ぶきっかけにしておらうと、2015年から夏季限定で開催している。この日は、100人を超える参加者が、ウミネコの鳴き声や爽やかな浜風といった種差の魅力を存分に堪能しながら心身をリフレッシュした。種差朝ヨガは9月までの毎週土曜と第4日曜の午前7～8時に開催。参加料は500円（小学生以下無料）で予約不要。

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p><b>レスリング伊調馨 女子全日本合宿に参加</b></p> <p>昨年12月にレスリング全日本チームの「アントラージュコーチ」に就任した五輪女子4連覇の伊調馨（八戸市出身、ALSOK）が5月16日、東京都味の素ナショナルトレーニングセンターで開かれた女子全日本強化合宿に参加し、初職務に当たった。アントラージュコーチは、選手の悩みや意見を聞き取り、安心して競技に専念できるようサポートする役割を担う。2024年のパリ五輪に向けて、日本チームが昨夏の東京五輪以上の成績を目指すに当たって日本レスリング協会が設置した。伊調さんの任期は、パリ五輪終了までとなっている。</p>
(18)	<p><b>小野氏（八戸二養教諭）バスケA級審判に 国内初！車いすバスケ国際審判とW資格</b></p> <p>青森県立八戸第二養護学校教諭で昨年9月の東京パラリンピック車いすバスケットボール競技で国際審判員を務めた小野裕樹さんは、今年4月にバスケットボールのA級審判員の資格を取得した。車いすバスケの国際審判資格とバスケットA級以上の上級審判資格を持つのは国内唯一。A級審判員は全国高校総体、国民体育大会など全国大会の審判を務めることができる資格で、現在は国内で約300人が保有している。今後、小野さんは国内外を飛び回り、2競技のハイレベルな試合をさばく。</p>
(19)	<p><b>木附沢麦青氏死去 句界の偉人、また一人</b></p> <p>「俳句界の芥川賞」と呼ばれる角川俳句賞を30歳で受賞した俳人、木附沢麦青（きつけざわ ばくせい）さんが5月24日、病気のため八戸市内の病院で死去した。86歳。二戸市に生まれ高校時代に俳句に出会い、俳句が盛んな八戸市に移住。すし店を経営する傍ら句作に励み、俳句結社「青嶺俳句会」を立ち上げるなど、後進育成にも心血を注いだ。「麦青風」と称される、詩的に研ぎ澄まされ、風土性豊かな作風で評価された。</p>
(20)	<p><b>ヴァンラーレ八戸、県南16市町村「応援大使」任命 2選手が八戸PRに意欲</b></p> <p>サッカーJ3ヴァンラーレ八戸が今季から実施している「ホームタウン応援大使」で、八戸市のPRを担う江幡俊介選手（八戸学院大出）、武部洸佑選手（同市出身）らが5月19日、市庁を訪れた。熊谷市長に大使への就任を報告し、文化やグルメ、観光などをPRしていきたいと意気込みを語った。ヴァンラーレは所属する全31選手を、ホームタウンとする青森県南地方16市町村の応援大使に任命している。市町村ごとに1、2人が担当し、SNSなどを活用しながら観光地や特産品といった地域の魅力を発信する。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

- 1 寄附金の使い道を指定できる**  
震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。
- 2 税金が控除(還付)される**  
控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)
- 3 お礼の品がもらえる**  
八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

#### 申込み方法

##### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



##### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



#### 送付先

### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。